

# エコプレス

暮らしの CO<sub>2</sub> ダイエット ニュースレター

皆さん、こんにちは。関西大学経済学部・良永ゼミです。

日毎に秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号のエコプレスでは、里山班も参加させて頂きました、「大都市近郊での町と里のつながりを考える in すいた」、食班によるフードバンク関西への見学、すいたクールアースウィークなど読み応え抜群の内容となっています！ぜひご拝読下さい♪

## CONTENTS

- ◆表紙・・ 1
- ◆大都市近郊での街と里のつながりを考えるフォーラム in すいた・・2.3
- ◆フードバンク関西に行ってきました！・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◆ジャスナ農園へ行ってきました！・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ◆すいたクールアースウィーク・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ◆本紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ◆イベント紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

# 大都市近郊での街と里のつながり

## を考えるフォーラム in すいた

8月26日 関西大学にて「大都市近郊での街と里のつながりを考えるフォーラム in すいた」が行われました。吹田市長である後藤氏や能勢町長の上森氏、さらに澁澤氏による貴重なお話を聞くことができました。街側・里側の両者が持続的に連携し経済性を伴った交流のあり方について話されていました。私たち関西大学 良永ゼミは話題提供として、能勢における里山再生案についてプレゼンさせて頂きました。

### 基調講演

澁澤 寿一氏 (特定非営利法人 共存の森ネットワーク理事長)



持続可能な地域づくりに必要なこと

(地域での循環と共生の取組みを事例として)

地域を作っていくことは地域内のつながりを強く結びつけていくこと。ここでは岡山県真庭市の例があげられていました。真庭市はもともと林業の盛んな地域であり、平成18年にバイオマスタウン構想が公表され、木質バイオマスを用いたエネルギーの地産地消に目が向けられました。

### 木質バイオマスとは？



木材に由来する再生可能な資源のこと。主に樹木の伐採や造材の時に発生した枝や葉、また製材工場から出る樹皮などのことを指します。場所によって種類が異なるので適材適所で使い方を変える必要があります。

### バイオマス発電の何がいいの？

- ・再生可能エネルギーなので環境にやさしい
- ・他の再生可能エネルギーと違い、天候に左右されることがなく発電できる
- ・木を切った際の、木くずや樹皮などの副産物で発電できる。
- ・カーボンニュートラルである  
→環境中の炭素循環量に対して中立ということ  
つまり、バイオマス発電をする際、排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素が同じ量であるということ



### 真庭市の取組み

エネルギー自給に向けて (平成28年度)

- ・地域内エネルギー自給率 32%
  - ・石油代替量約 42,200kl/年を達成  
→重油 70 円/kl とすると年間約 30 億円地消
  - ・CO2 削減量約 101,200t-CO2/年を達成
  - 地域外購入から地域内購入へ
  - 木質バイオマスの活用による森林資源の見直し
- (出典：講演資料)

### 重要なことは・・・

地域内の連携が必要であり、エネルギー・素材事業ではありません。また、地域住民そのものの意識も大切になってくるのです。



# 吹田市 × 能勢町

## ～後藤市長の主張～

- ・もったいない
- ・街と里の需給の安定
- ・木の需要は今後なくなることはない
- ・後々は能勢町からの供給でまかないたい



## ～上森町長の主張～

- ・のせの森林資源の多さ
- ・年間の森林整備面積は全体の0.6%
- ・99%未使用森林資源
- ・木の駅プロジェクト



### ◆能勢町の森林について

町域 98.75 km<sup>2</sup> → 77.4 km<sup>2</sup> (7,740ha) が山林

約8割が森林である！！

#### ●森林整備事業

町内年間 約40ha※

+

町民各自 約10ha

＝約50ha

※（森林組合が主体で、スギ・ヒノキの人工林やクヌギ・コナラ林の広葉樹林の手入れを行っている）

山林面積 7,740ha

森林整備面積 50ha

わずか 0.6%…

99%が未利用森林資源…

（出典：講演資料）

もったいない

99%の未利用森林資源を地域経済に取り込もう！

## 木の駅プロジェクト

- 森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるための、適切な利活用が不可欠
- 眠れる未利用材を、おもちゃ・日用品・文具などの原材料として集積するプロジェクト

能勢町（里）

吹田市（街）

【入り口】



【出口】

能勢町と吹田市の入り口と出口を見据えた日本初めての森林資源利用のチャレンジ！！

出典：講演資料

### 感想

経済的な目線で見ると内部循環経済によって地域内でお金を留めることは地域活性化にとってとても大切なことであります。しかしながら、それらを取り巻く地域住人の関係性づくりを重要視することも地域活性化にとって必要不可欠な要素であることがわかりました。地域という小さなまとまりこそがこれからの日本の社会には大きな存在になってくるのではないかと今回感じる事ができました。

# フードバンク関西に行ってきました！

先日、食・農班は、兵庫県神戸市の認定特定非営利活動法人、フードバンク関西へ取材と施設見学に行ってきました。

## ◆フードバンクとは？

安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄付を受け、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動のことです。



## 食品ロス、要食支援の問題

・日本における1年間の食資源投入量約9千万トンのうち1/3約3千万トンが廃棄されており、そのうちまだ食べられる食品(食品ロス)621万トン、企業からでる食品ロス339万トン、家庭からでる食品ロス282万トンです。また、家庭から廃棄される生ごみの中に手つかずの食品が約1/4含まれ、そのうち賞味期限以内であった食品が約1/4という調査結果も出ています。

・日本の貧困率は約16%(7人に1人)と言われており、また、ひとり親家庭の「子供の貧困率」はOECD加盟国中で最悪の50.8%となっています。

出典：フードバンク関西年次報告書(2018)

## ◆フードバンク関西の食品の取扱量と提供企業数

企業や個人からの食品取扱量は205トン(2016年)であり、提供企業数は62社+防災備蓄品提供企業34社です。最近では、量販店や食品商社からの提供の増加、食品の種類が豊富になってきており、また、東日本大震災を機に導入された「災害備蓄品」交換時期に伴い、賞味期限まで余裕のある防災用食品の提供企業も多くなっています。

出典：フードバンク関西年次報告書(2018)

## ◆主な活動内容(4つのうちの1つをご紹介します)

### 「こども食堂」支援

こども食堂とは、共働き、ひとり親家庭増加に伴うこどもの孤食・欠食を懸念し、各地域のボランティア団体により無料、または低額で食事を提供する取組のこと。

そのこども食堂に月1回食品を提供し、食材調達の下支えをしている。

## ◆フードドライブの拡充

フードドライブとは、賞味期限はまだ残っているが使いきれないなどの理由で、家庭で使われずに眠っている食品を持ち寄り、集まったものをフードバンクに寄付し、そこから必要とする人に届けて活用してもらう取組のこと。

条件としては、未開封・生鮮食品以外・賞味期限が明記されておりそれが1カ月以上のもの。例えば、米・パスタ・缶詰・のり・コーヒー・レトルト食品など。



企業や個人から提供された多くの食品

## ◆感想

運営費が十分に確保できない、フードバンクを支援する法整備が整っていない、全てボランティア活動など多くの問題はあるが、こども食堂の子どもたちや施設の方からの感謝の言葉や手紙が私たちの活力であるとおっしゃっていたことがとても心に残っています。

# ジャスナ農園へ行ってきました！

先日、食・農班は、大阪府大阪市の株式会社ジャスナ、ジャスナ農園へ取材と施設見学に行ってきました。

## ◆ジャスナ農園とは？

ジャスナ農園では、都市型水耕農園において「収穫」に特化した新しいサービスを提供しており、初めての方からベテランの方まで、**屋上農園**と**水耕栽培**の2つのスタイルで、年齢を問わずに自分にぴったりの農園を持つことができます。野菜作りセミナーもあり、種・苗の選び方、まき方、植え方、管理作業など必要なことを丁寧に教えてくれます。



### ～水耕栽培～

初めて野菜を育てたり、手軽に収穫の楽しみを味わったりしたい方には水耕栽培がおすすめ！

—特徴—

- ・無農薬で安心安全
- ・農具は不要
- ・気軽に立ち寄れる

EX:ミズナ、小松菜、フリルレタスなど



### ～屋上農園～

土を触って季節の野菜づくりを体験したい方は屋上農園がおすすめ！

—特徴—

- ・害虫が付きにくい
- ・農具は不要
- ・短期サイクルで収穫可能

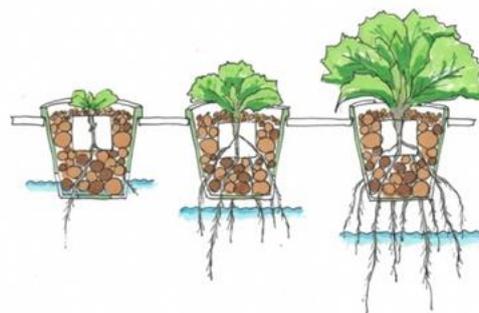
EX:きゅうり、ニンジン、なすび、トマトなど



## ◆水耕栽培とは？

水耕栽培とは、土を使わず水と液体肥料で植物を育てる方法のことをいいます。右図のように、植物の根の部分を肥料がはいった水(培養液)に浸し、必要な水、養分と酸素を根から吸収させます。

水耕栽培する部屋を屋外と遮断したり、溶液を衛生的に管理することで健康的な無農薬植物が育ち、季節に関係なく計画的に栽培ができます。



### 水耕栽培で育てられたレタス



## ◆感想

水耕栽培によって育てられたレタスを食べさせて頂きましたが、シャキシャキしていてとてもみずみずしくおいしかったです♪三世代そろって楽しく野菜作りを行ったり、嫌いな野菜が自分で育てると食べられるようになったお子さんもいたそうです(^)v

# すいたクールアースウィーク



地球温暖化防止に向けた取組みを広げる週間として、9/22～9/30の約一週間、吹田市内の各地域でさまざまなイベントが行われました。私たちが通う関西大学千里山キャンパスでは、総合図書館内で環境に関する本が展示されていました。また、関西大学での環境保全の一環としての取組みについても、取材してきました。さらに、大学内のスターバックスさんも小さなことですが、環境に優しい取組みをされていました。

## ◆関西大学総合図書館にて

クールアースウィークの一環として、関西大学は総合図書館にて、環境に関する本が展示されました。図書館では、「地球温暖化」「エネルギー」「地球」「月」これらを重要なキーワードとして取り上げ、詳しく知るための資料を紹介されていました。特に、地球温暖化は近年さらに問題視されており、様々な角度から温暖化を捉え、現在さらには未来までも考えさせられる本が数多くありました。



## ◆関西大学の取組み

関西大学内で行われている、環境保全の取組みについて総務課の門脇様にお話を聞かせて頂きました。

### 1. グリーンカーテン

期間：6月～9月末にかけて実施  
使用植物：アサガオ、ゴーヤ（2週間ほどで成長）  
効果：エアコン温度が28度で十分涼しく感じる  
身体の疲れが軽減

### 2. Cool Biz

クールビズ（ノーネクタイ・ノージャケット）の推進  
期間：5月1日～10月31日

### 3. 節電

節電に対する呼びかけ  
・設定温度の厳守、最終退出者の消灯

## ●取組みについて

10年以上前から環境保全の取組みをしており、すいたクールアースウィーク期間中も取り組まれたとのことでした。グリーンカーテンの効果は絶賛しておられました。今後もよりいっそう環境保全に力を注いでいき、学生とも協力して活動したいとおっしゃっていました。

## ◆スターバックス 関西大学 千里山店にて

クールアースウィークの期間中、北摂エリアの全18店舗で、「ディライト イン ザ ナイト」の取組みが行われました。内容としては、19:00～20:00の間、店内の照明を部分的に消灯するというものです。少し暗い店内で環境にやさしく、くつろげる空間でした。

## ◆その他各地域イベント

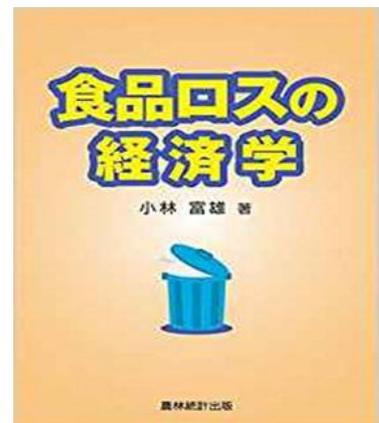
- ・十五夜ムーンライトコンサート
- ・その他イベント
- 月の観察会など



# 本紹介

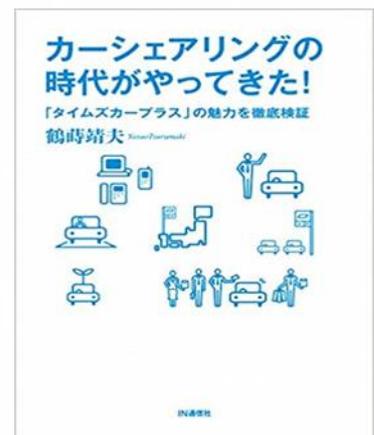
あらすじ：この本は主要な食品ロスの問題が描かれており、原因と食品ロス削減取り組みの両面について、豊富なデータや調査結果をもとに分析が行われていました。また、韓国、アメリカなど海外での食品ロスへのそれぞれの取り組みも数多く紹介されています。

感想：この本を輪読して、食品ロスの背景や問題点など学ぶことが多くありました。海外での食品ロスに対する対策や政策を知り、これから日本でできることはないか、またその効果や問題点は何なのか、など今後調べていきたいと思います。



あらすじ：モノを持たないで「シェア」する、といったライフスタイルが若者を中心に当り前のようになりつつあり、世界的に「シェアリングエコノミー(共有経済)」が広がりを見せている。日本にもその潮流は押し寄せており、カーシェアリングはその走りである。本書では、このことを通じて様変わりしつつある人と車、街との関係について述べられています。

感想：私たちが今調べている、「EV化」が進むことで、スマートフォンのような感覚で車を利用する日が来るのではないかと期待と希望を抱くことができました。



あらすじ：森林大国である日本に存在する林業。世代を超えて山と向き合いながら、100年単位で先々を見据えなければならない産業である。かつての木材利用が減少してしまい、担い手が減少し、衰退の一途をたどる林業を立て直す必要がある。豊富な資源を利用し、再び活発な産業へと育て上げる林業従事者の活動や努力が記されています。

感想：ただ木を切るだけの産業ではなく、100年以上先を考え、持続可能な山づくりをしておどろきました。外国の木材ではなく、国産の木材をいかに消費者に使ってもらうかが、重要だと感じました。日本の資源を活かせる需要の創造をこれから考えていきたいと思いました。



# イベント案内

## ●エコサポすいた公開講座（平成30年度すいた環境サポーター養成講座の一部を特別公開。）

### 1回目 小さな微生物に学ぶ地球環境問題へのアプローチ

現在の河川環境の保全是化石燃料を大量に使った廃水浄化システムに頼っています。「海や川を汚したくない」想いを温室効果ガスをなるべく排出しないで実現させようとする試みについて考えます。ぬり絵や指ヨガ・ストレッチを楽しめるおやこワークショップも。

◆講師 中西 周次 先生（大阪大学・太陽エネルギー科学研究センター 教授）

◆日時 11月18日（日）14：30～15：30（おやこワークショップ 13：20～14：20）

◆場所 千里山コミュニティセンター ◆定員 先着100名（事前申込不要） ◆費用 無料

◆お問い合わせ 吹田市環境部環境政策室（電話：06-6384-1701）

### 2回目 ～生物多様性 その恵みを考えよう～ たこ焼きから考える生物多様性

大阪といえばたこ焼き、その身近な食べ物から、身の回りの自然や生物多様性について考えてみます。ぬり絵や指ヨガ・ストレッチを楽しめるおやこワークショップも。

◆講師 石井 実 先生（大阪府立大学 副学長）

◆日時 1月14日（月・祝）14：30～15：30（おやこワークショップ 13：20～14：20）

◆場所 千里山コミュニティセンター ◆定員 先着100名（事前申込不要） ◆費用 無料

◆お問い合わせ 吹田市環境部環境政策室（電話：06-6384-1701）

## アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止、食品ロス削減、暮らしのCO2ダイエットなど、様々な取組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで

【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782 FAX 06-6368-9900

エコプレス 10月号

発行：アジェンダ21すいた エネルギー部会

〒564-8550

吹田市1-3-40 吹田市役所環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782

FAX：06-6368-9900

編集：関西大学経済学部 良永ゼミ

表紙・・・・・・・・・・谷口

フォーラム・・・・・・・・・・矢島

フードバンク・・・・・・・・谷口

ジャスナ農園・・・・・・・・谷口

クールアースウィーク・・・矢島

本紹介・・・・・・・・・・谷口、前、矢島

## 編集後記

・実際に現地調査に行きお話を聞かせて頂くことで、食品ロスの現状を目の当たりにし、家庭でできることから共有し、行動に移していくことが大切だと感じました。（谷口）

・フォーラムを通して、現代における林業のあり方や、木材の需要と供給のバランスの難しさを知ることができました。すいたクールアースウィークでは、地球温暖化についてあらゆる視点から考えられたイベントが盛りだくさんで、少しでも地球温暖化に貢献できればいいなと思いました。（矢島）